

四万十のいのち大集合「四万十川学遊館」オープン!

読者のみなさん、こんにちは。

今回は7月6日、高知県中村市にオープンした中村市立「四万十川学遊館」をご紹介します。

中村市トンボ自然公園の中にある「四万十トンボ自然館」が、このたび“さかな館”を新設し、トンボ・アカメと花の里「四万十川学遊館」へと大きくリニューアルしました。その名の通り、昆虫・さかな・植物など流域における“いのち”と“自然”を学び、楽しむ環境学習型文化施設となっています。

ナショナルトラストにより世界初のトンボ保護区を作り上げた、社団法人・トンボと自然を考える会(1985年12月発足・本部は中村市)は、これまでトンボと並行して四万十川の魚の調査・研究を続けてきました。その集大成として誕生したのが「四万十川学遊館」です。

木のぬくもりに包まれた館内は、展示物の見せ方・配置にまで多くの工夫がなされています。例えば、“さかな館”へと向かう階段の足下には、昆虫の標本が埋め込んでありました。上がって展示室には、向かって右手から半円を描くように水槽が並んでいるんですが、実はこれらは、四万十川の源流から河口へと蛇行する流れを表していたのです。とんぼ館を含め様々な部分に“発見”と“なるほど”があふれ、館内を回りきった時には、四万十川をより身近に感じられるようになります。

川についての知識が増えれば、川で遊ぶのがもっと楽しくなるのと同時に、川を大切にしようという心が育っていきます。そうすることで、四万十の美しい環境が守り続けられていくことでしょう。「四万十川学遊館」は新しい時代の博物館として、人間と環境とのかわり・共生について理解と認識を深める、総合的学習・環境教育の場となることを目指しています。

四万十川学遊館のホームページ→<http://www.gakuyukan.com/>



Topics

山本容子の美術遊園地

版画家で四万十大使でもある山本さんの作品展。装丁本・アクセサリ・立体作品等々、初期作品から代表作品まで約300点が一堂に展示されています。

■期間：2002年7/21(日)～9/16(月) ■会場：高知県立美術館

■開館時間：9:00～17:00※会期中の金曜日は、夜8時まで。

■休館日：7/22(月)・29(月)・8/6(火)・12(月)・19(月)26(月)・9/3(火)・9(月)

■お問い合わせ先：088-866-8000

山本容子のホームページ→<http://kodansha.cplaza.ne.jp/y-yamamoto/>